

クリスマスにおすすめの一冊

みなさんはアドヴェントのときをどのように過ごしますか。
各部の方々に、おすすめの一冊と一本を紹介していただきました。



高等部 Senior High School

『クリスマスに贈る100の言葉』

アルフレート・ハルトル 編／里野 泰昭 訳

女子パウロ会

「心静かにクリスマスを迎えるために」

私たちは日々慌ただしく過ごしています。特にクリスマスの時期である12月は日本では「師走」と呼ばれ何か心が落ち着きません。クリスマスは主の御降誕を待ち望む「アドベント」と呼ばれる時期を心静かに過ごし、きちんと心を整えて迎えるのがあるべき姿なのでしょう。

クリスマスに向けて心を整えるための導きとして、これまでおよそ2000年の長きにわたって人々がクリスマスをどのように考えてきたのかを知り、その声に耳を傾けることは大いに参考になります。それらの言

葉を自分の心のなかで思い巡らし黙想することによってクリスマスに向けて心を整えることができるでしょう。この本はこれまでのおよそ2000年の歴史の中で人々が考え語ってきたクリスマスに関する100の言葉を選びまとめたものです。1ページ読み切りとなっておりとても読みやすいですが、1つ1つの言葉はどれも味わい深いものばかりです。クリスマスについてあらためて考えてみたいという方にもおすすめの一冊です。

高等部教諭 山田 徹

